



平成27年3月25日
市議会議員 坂澤博光

平成27年第1回各務原市議会が2月25日(水)から3月24日(火)まで開催されましたので、その概要について報告します。

1 平成27年度予算

平成27年度予算は、総合計画のスタートを切る最初の予算です。

「子ども・子育て」分野に継続的に取り組むとともに、教育、医療、防災、産業等、各分野への取り組みを通じて新しい各務原の基礎の確立を目指す予算です。

一般会計463億5千万円(対前年度比9,7%増)、特別会計343億5千万円、企業会計35億7千万円、総額842億7千万円で、皆様からいただいたアイデアに満ちた予算です。

2 条例の改正

- (1) 平成27年7月から、教育長と教育委員長を統合し新「教育長」になります。
- (2) 土地・家屋・償却資産に関する証明書の発行手数料が「1件」当たりで計算されます。
- (3) 消防団員の報酬の額及び出動手当などが増額されます。
- (4) 児童等に対するいじめを防止するための組織が設置されます。
- (5) 勤労青少年運動場の再整備に伴い、名称が「各務原市総合運動公園」に変わるとともに使用料が区分分けされ明確になります。

3 スパークの一般質問

(1) 小中学生のいじめ防止について

ア、質問内容

- ・小中学校におけるいじめの報告状況は。
- ・各学校に配置されているカウンセラーの活動状況は。
- ・インターネットやメールによるいじめの早期発見策は。
- ・本市のいじめ防止に関する今後の取り組みは。

イ、執行部からの回答

- ・小学校59件、中学校35件で重大事態に当てはまる事案の報告はありません。
- ・各中学校区に1名配置され、年間約40回、児童生徒・保護者に対するいじめ、不登校、学習等についての教育相談だけでなく、教職員に対する助言や援助もしています。
- ・児童生徒のインターネットへの書き込みを監視する県教育委員会の「ネットパトロール」と連携し、SNSへの不適切な書き込みがないか情報を共有し早期発見に努めています。
- ・いじめ防止等に関する基本理念を定め、市、学校、保護者等の責務を明らかにしていじめを防止し、いじめが発生した時に適切に対処するための組織を設置します。



(2) 公共施設等総合管理計画について

ア、質問内容

- ・本市の公共施設の現状は。
- ・本市が進めている長寿命化計画との整合は。
- ・本計画策定の方向性は。

イ、執行部からの回答

- ・本市の所有する建築物で延床面積100㎡以上の施設は、159施設、263棟、道路は延長1,144Km、橋梁460橋、都市公園181箇所、下水道の污水管路延長592Kmです。
建築物のうち、小中学校などの教育施設が全体の棟数の約40%を占めています。
昭和50年代に建てられたものが全体の約32%、昭和40年代が約20%です。
- ・長寿命化計画は、老朽化した公共施設等を効率的かつ計画的に維持管理・更新し、事業化の平準化を図るために策定した計画であり、総合計画で求められている施設の統廃合などの将来の見通しを踏まえたものとはなっていません。
- ・今後は、「新しく造る」ことから「賢く使う」ことを中心とした考え方に転換するとともに、人口減少や少子高齢化による人口構造、利用需要の変化などを的確に捉え、公共施設の適正なあり方も含めた総合的な計画の策定が必要と考えています。
本市は固定資産台帳を作成し資産状況の管理に努めているので、このような情報を活用しながら、公共施設等の現状分析を進めるとともに、将来の見通しも踏まえ平成28年度までに公共施設等総合管理計画を策定していきます。



(3) 街路樹の現状と今後の方向性について

ア、質問内容

- ・送電線と街路樹の現状の干渉防止対策は。
- ・防災の観点から幹線道路の街路樹の在り方を見直すべきでは。

イ、執行部からの回答

- ・中部電力では、送電線まわりの枝払い、電線の移設、保護カバーの設置を、市では、樹木の芯止め「透かし剪定」をしています。
- ・防災の観点から街路樹の在り方を見直すことは重要ですが、街路樹の効果もあるので、定期的に「透かし剪定」を実施するなど適切に維持管理していきます。

第9回市政報告会

とき：平成27年4月25日（土）13時から14時30分

ところ：雄飛ヶ丘公民館（那加雄飛ヶ丘町12-15）

連

絡先：各務原市那加昭南町 97-1-201 坂澤博光

電話&FAX：058-371-1270 携帯電話：090-7026-9861

Eメール：hir_skzw@d1.dion.ne.jp、ホームページ：「さかざわ博光」で検索